

○ 路線概要

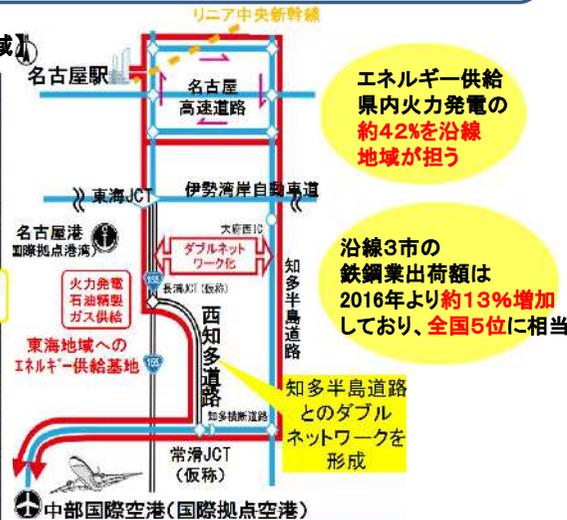
区間:東海市～常滑市 延長:約18.5km
 構造:北部区間 第2種第1級(6車線) 南部区間 第1種第2級(4車線)
 事業主体:
 【国(権限代行)】・東海JCT(2車線ランプ:L=2.0km)、長浦IC～日長IC(L=1.6km)
 【県】・《補助》青海IC～常滑JCT(L=4.0km)、日長IC～青海IC(L=4.0km)
 ・《交付金》大田IC



○ 平常時・災害時問わず強靱な道路ネットワークを構築

- ・名古屋駅、中部国際空港、名古屋港をダブルネットワークでつなぎ、**リダンダンシーを確保**
- ・**災害時におけるエネルギー供給地域の早期復旧に寄与し**、車両用燃料の搬出など、企業BCP計画に貢献
- ・混雑緩和が期待され、**生産性が向上**

【西知多道路沿線のエネルギー供給地域】



エネルギー供給
 県内火力発電の
 約42%を沿線
 地域が担う

沿線3市の
 鉄鋼業出荷額は
 2016年より約13%増加
 しており、全国5位に相当

○ 5か年加速化対策による事業状況

○5か年加速化対策で確保した予算により**事業が大きく進展**

<常滑工区(青海IC南)>



- ・橋台1基施工
- ・ボックスカルバート1基施工

<常滑工区(前山川沿い)>



- ・ボックスカルバート3基施工

<常滑工区(常滑JCT)>



- ・橋台6基施工
- ・橋脚1基施工
- ・上部工1橋施工

○5か年加速化対策により、**工事着手箇所が増え、事業の進捗が目に見える**ようになってきている。
早期に事業効果の発現を図るためにも、整備を加速し1日も早い開通が必要であるため、5か年加速化対策後も、**別枠で予算を確保して継続的・安定的に取り組む必要がある。**